

# 2022年度第2四半期 決算説明会 事業概況



Enhancing planetary health

2022年11月10日

日揮ホールディングス株式会社

代表取締役社長COO

石塚 忠

# CONTENTS

## 目次

- 総合エンジニアリング事業 上半期の受注実績
- 総合エンジニアリング事業 マーケット環境の見通し
- 総合エンジニアリング事業 下半期の注力案件
- 総合エンジニアリング事業 主要案件の進捗状況
- 機能材製造事業 上半期の実績とマーケット環境
- トピックス 機能材製造事業の拡大に向けた取り組み
- トピックス プロジェクト遂行体制の強化
- トピックス サステナブル分野の進展



# 総合エンジニアリング事業 上半期受注実績

プラントマーケットの回復を背景に順調に進捗。

連結受注実績：約**4,630**億円

	海外	国内
2022年度受注目標	6,700億円	1,700億円
上半期受注実績	約4,160億円	約470億円
主な受注案件	<ul style="list-style-type: none"><li>・ サウジアラビア 原油ガス分離</li><li>・ タイ 化学</li><li>・ インドネシア ガス処理</li><li>・ 東南アジア 金属精錬関連</li><li>・ 米国 LNG (FEED)</li><li>・ マレーシア 医療品製造工場</li><li>・ ベトナム 太陽光発電</li></ul> 等	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 医薬品製造工場 (複数)</li><li>・ 病院</li><li>・ 保全業務</li></ul> 等

## 海外

- 経済活動の再開によるエネルギー需要の拡大、エネルギー安全保障を背景とするエネルギー調達先の多様化と相俟って、顧客の投資再開の動きが本格化。下半期も着実に計画が進展する見通し
- 低・脱炭素分野においても、FS・FEEDを中心に複数の案件が着実に進展
- 今後の世界経済の動向を注視しつつも、2023年度も今年度と同様に着実な設備投資計画の進展を期待
- 実現可能性の高い案件を選別受注

## 国内

- 下半期は医薬品製造案件のほか、SAFやブルー水素製造などの低・脱炭素関連案件の進展を期待
- 2023年度以降も、引き続き医薬品製造を中心に、電子材料素材関連のほか、資源循環（SAFなど）や水素などの低・脱炭素案件の進展に期待

# 総合エンジニアリング事業 下半期の注力案件

## 海外

## 国内

### 下半期の 主な注力案件

- 北米 LNG
  - 東南アジア LNG
  - オセアニア LNG (FEED)
  - 北米 ガス化学
  - 中東 ガス化学
  - アジアなど 低・脱炭素関連  
(FS、Pre-FEED)
  - アジア 太陽光
  - アジア 太陽光+蓄電システム
  - アジア 生分解性プラスチック  
製造実証
- 等

- 医薬品製造工場
  - 病院（複数）
  - ブルー水素製造実証
  - SAF製造実証
  - 原子力関連
  - 保全業務
- 等

### 下半期の方針

複数のLNG案件やガス化学案件に加えて、低・脱炭素関連案件のFS、Pre-FEEDなどを着実に受注

医薬品や複数の病院建設のほか、ブルー水素製造やSAF製造など低・脱炭素関連案件を着実に受注



# 主要案件の進捗状況：LNGカナダ

主要モジュールは建設現場に到着し、順調に進捗。  
進捗率は70%超



# 機能材製造事業 上半期実績とマーケット環境

	上半期実績	2022年度見通し (修正後)
上半期実績		
売上高	約 <b>234</b> 億円	<b>470</b> 億円
セグメント利益	約 <b>38</b> 億円	<b>65</b> 億円

## 触媒・ファインケミカル

顧客需要は総じて堅調に推移。今後顧客需要動向を注視。原燃材料高騰の影響も価格交渉に注力。

触媒は海外市場拡大、クリーンエネルギー・資源循環分野向けの新規開発を推進。ファインケミカルでは多用途展開を加速。

## マーケット環境/ 下期の方針

## ファインセラミックス

半導体製造装置部品を中心に、顧客の需要は堅調に推移。電気自動車のパワー半導体向け高熱伝導窒化ケイ素基板の需要も旺盛。人員体制の整備、全体の品質向上とキャパシティアップを推進。

# トピックス 機能材製造事業の拡大に向けた取り組み

## 半導体用セラミックス増産に向けた設備投資

- 本年6月、半導体製造装置用セラミックスの高精度化、パワー半導体用窒化ケイ素基板の増産に向けた設備投資を実施
- 7月には宮城県富谷市での新工場用地を取得。半導体製造装置用セラミックスと、パワー半導体用窒化ケイ素基板の追加増産に向けて総額約100億円を投資



新用地の立地表明式



半導体製造部品および窒化ケイ素基板を製造する富谷事業所

## JFCマテリアルズの始動

- 昭和電工マテリアルズとの間で締結したセラミックス事業譲受が完了。本年7月から「JFCマテリアルズ株式会社」として事業開始
- 半導体製造装置用セラミックスなどの構造用セラミックスの製造能力が倍増。半導体製造装置向けやパワー半導体向けの商品群の拡大を目指す



# トピックス プロジェクト遂行体制の強化

## インドに新たなオペレーションセンターを設立

### 設立の背景・意義

- 今後の海外プラントマーケット拡大を見据えたプロジェクト遂行体制の整備
- 中期経営計画の重点戦略「EPC事業のさらなる深化」における、海外大型プロジェクトの競争力・収益力の強化の一環

### インド選定の背景

- 政治的な安定性と安全性、比較的安い水準の人件費
- 同業のエンジニアリング会社や工学系大学が多く、高い英語力を持つ優秀なエンジニアが多く存在



# トピックス サステナブル分野の進展(1)

## 国内

国内では、SAF製造プラント、ブルー水素製造実証プラントやグリーンアンモニア実証プラントなど、具体的なEPC案件が着実に進展。2022年度下期から2023年度にかけて、総額約300~400億円規模の受注も視野に

## 海外

海外においても、水素・燃料アンモニア案件のFS・Pre-FEEDを中心に、SAF製造などのサステナブル案件が着実に増加・進展



### サステナブルソリューションズを設立

海外EPC事業における低・脱炭素分野の新たな専門組織として日揮グローバルに9月1日付で設立

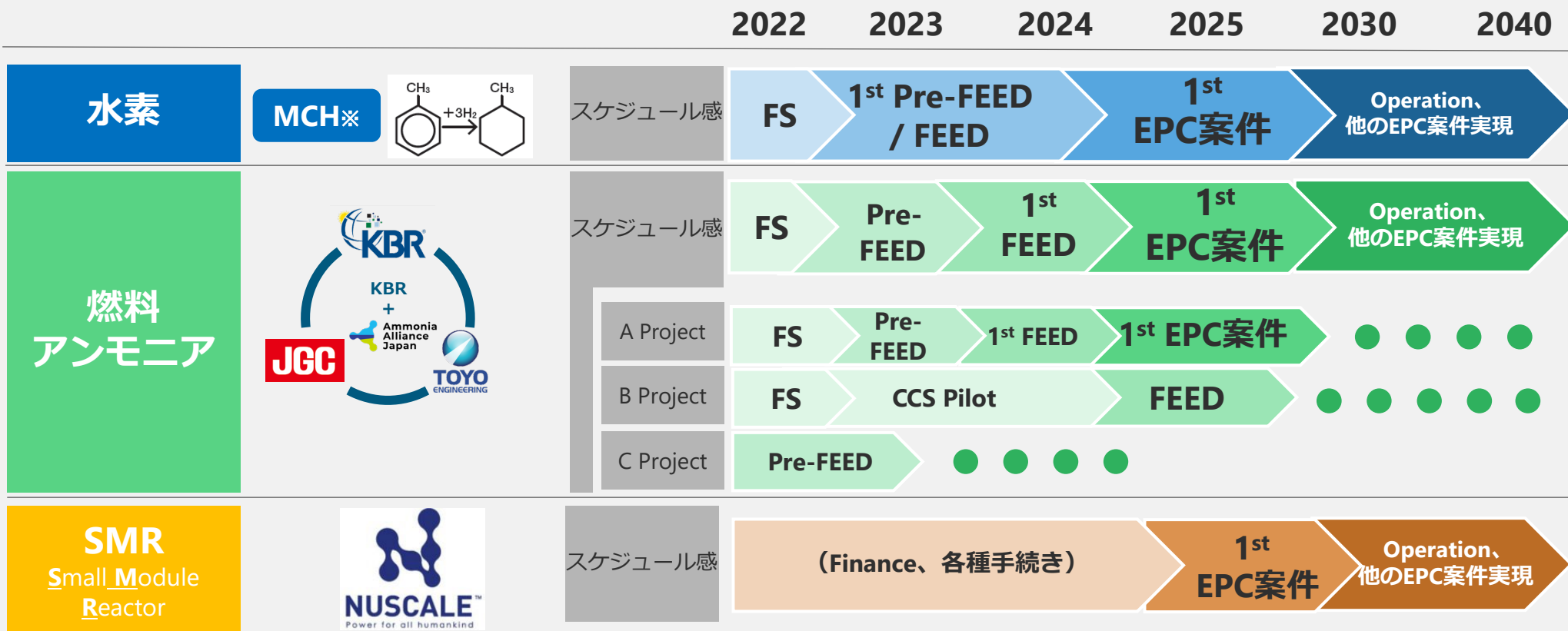
#### 対象分野

水素・燃料アンモニア、SAF、グリーンケミカル、SMR等

#### 狙い

- 事業開発からFS、FEED、EPCの受注・遂行に至る機能を集約
- 具現化のフェーズに移行したサステナブル案件を着実に受注、遂行

# トピックス サステナブル分野の進展(2)



※ MCH : メチルシクロヘキサン

FS : 事業化調査

Pre-FEED : 概念設計

FEED : 基本設計

# 将来の見通しに関するご注意事項

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、種々の要因により変化することがあり、これらの目標や予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。またこれらの情報が、今後予告なしに変更されることがあります。

従いまして、本情報および資料のご利用は、他の方法により入手された情報とも照合・確認し、ご利用者の判断によって行ってくださいますようお願いいたします。

本資料ご利用の結果、生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

## ＜本資料に関するお問い合わせ先＞

日揮ホールディングス株式会社  
グループ経営企画・推進部  
コーポレートコミュニケーショングループ  
Tel:045-682-8026 Fax:045-682-1112  
E-mail: ir@jgc.com